

## 看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、成育看護学講座、地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目は、看護学の導入部であり、かつ各看護専門領域への橋渡しの役割を持っている。具体的には、看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法そして看護職の役割、多職種存在と連携の重要性等を学び、看護の特徴を理解する。それにより看護を概観でき、今後の学修のイメージをもつことができる。

### ・教育成果（アウトカム）

看護の対象は社会の中で生活を営んでいる人々であり、その人々の健康に関わっていくのが看護職である。どのように人々の健康を守っているのか、看護の歴史の変遷を踏まえ、看護の独自性という視点から、捉えることができるようになる。その上で、保健医療を担うチームの一員として看護職への社会的ニーズにどう応えていくべきか、自分なりに考えることができるようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3

### ・到達目標（SBO）

1. 人々の健康で幸福な生活とは、人々のもつ価値観や社会的背景を踏まえて多様であることを理解し尊重できる
2. 看護職に求められる様々な役割を理解できる
3. 看護職の法的義務を説明できる
4. 看護において人々の基本的人権が擁護される状況、擁護のための手段・方法が理解できる
5. 生命、人の尊厳を尊重することができる
6. 看護の定義や目的について説明できる
7. 看護とは何か、歴史の変遷や看護の特徴、看護理論を学ぶ中で自分なりに表現できる
8. 人間のライフサイクルと発達について説明できる
9. 看護職に求められる様々な役割を説明できる
10. 保健・医療・福祉における協働の目的と意義、看護職に求められる役割を説明できる

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/19	月	3	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護の歴史の変遷①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の看護の歴史の変遷のポイントをあげることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.10-17 をよく読み、わからない部分を調べておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
4/22	木	1	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護の歴史の変遷②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の看護がどのように発展してきたのかポイントをあげることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.17-20, 138-150 を読み、わからない部分を調べておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
4/26	月	3	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>健康とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の持つ意味、健康のレベルにあわせての看護のあり方について述べる</li> </ul> <p>【事前学修】 WHO の健康の定義、憲法第 25 条 1 項について調べてくること</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
5/6	木	4	成育看護学講座	最上 玲子 講師	<p>看護の対象の理解…小児期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルの中の小児期の特徴をあげ、小児看護を概観することができる</li> </ul> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>

5/13	木	4	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	<p>看護の対象の理解…母性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のライフサイクルの特徴（特に母子の視点から）をあげ、母性看護を概観することができる</li> </ul> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
5/18	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>看護の対象の理解…成人期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルの中の成人期の特徴をあげ、成人看護を概観することができる</li> </ul> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
5/20	木	4	地域包括ケア講座	野里 同 准教授	<p>看護の対象の理解…老年期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルの中の老年期の特徴をあげ、老年看護を概観することができる</li> </ul> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
5/25	火	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	<p>看護の対象としての「人間」とは 看護の対象の理解…家族・集団</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の対象としての人間とは何かを再確認することができる</li> <li>・看護の対象としての家族・集団の特徴をあげ、家族・集団への看護の必要性を述べるることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.103-106, pp.133-136 を読み、 要点をまとめておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>

5/27	木	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	<p>看護の機能と役割①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護活動の場の広がりと多様化に伴い拡大している看護の役割について述べるができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.59-76 を読み看護の継続性についてまとめておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
6/3	木	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	<p>看護の機能と役割②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健医療福祉チームにおける看護の役割を述べるができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.225-246 を読み看護サービス提供の場についてまとめておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
6/8	火	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方 看護理論① (ナイチンゲール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の生命力の消耗を最小にするように整えることについて述べるができる</li> </ul> <p>【事前学修】 ナイチンゲールについて、既存資料から自分なりのナイチンゲール像をまとめておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習し、新たに理解したことをまとめる</p>

6/15	火	4	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方 看護理論② (ヘンダーソン、ウィーデンバック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘンダーソンによる看護活動の基本の14の構成要素について、その意味を述べることができる</li> <li>・ウィーデンバックの理論の特徴を述べるができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.27-31 を読んでおく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
6/17	木	4	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方 看護理論③ (ペプロウ、オーランド、 トラベルビー) (ロイ、オレム、ベナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者 - 看護師関係の発展段階およびそれを発展させる効果的コミュニケーションについてポイントをあげることができる</li> <li>・概念モデルを示した理論(ロイ、オレム、ベナー)の看護論の特徴を述べるができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.31-36 を読んでおく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
6/21	月	4	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	<p>日本の看護職の現状・看護職の資格と養成制度 看護職の就業状況と継続教育の視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職の資格と養成制度について説明できる</li> <li>・看護職がどのような場で活躍しているのか、継続教育はどのようになされているのか説明できる。また課題についてあげることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 教 pp.150-183 を読み、看護職の教育制度について要点をまとめておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>

7/6	火	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	<p>看護職に対する社会の期待と責任</p> <p>・ 倫理の意義・患者の権利、医療安全と医療の質保障について理解できる</p> <p>【事前学修】 教 pp.186-218, 292-304 を読んでおく, 看護者の倫理綱領を調べておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p>
-----	---	---	-----------	-----------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 第 17 版	茂野香おる編集	医学書院	2020
参	看護覚え書-看護であること看護でないこと	フローレンス・ナイチンゲール	現代社	2011
参	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン	日本看護協会出版会	2016

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業の最後に次回講義の授業内容（教科書の該当する部分）を提示する。事前に読んで授業に臨むこと。授業終了後は予習した内容に授業内容のポイントを追加しまとめること。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業に関する Q&A はレスポンスカードまたは WebClass を活用する。その中で全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 I 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影